

国民年金特別会計基礎年金勘定 平成18年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減		前年度	18年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	2,138	2,156	18	他会計繰入未済金	362	341	△21
未収金等	2,480	2,609	129				
貸倒引当金	△1	△1	△0				
				負債合計	362	341	△21
				< 資産・負債差額の部 >			
				資産・負債差額	4,255	4,423	168
資産合計	4,617	4,764	147	負債及び資産・負債差額合計	4,617	4,764	147

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
基礎年金給付費	12,638	13,490	852
委託費	553	505	△48
他会計への繰入	3,796	3,689	△107
その他	0	0	0
本年度業務費用合計	16,988	17,685	697

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
前年度末資産・負債差額	4,238	4,255	17
本年度業務費用合計(A)	△16,988	△17,685	△697
財源(B)	17,005	17,853	848
本年度末資産・負債差額	4,255	4,423	168

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
業務収支	1,414	1,432	18
財務収支	-	-	-
本年度収支	1,414	1,432	18
(業務収支+財務収支)			
資金への繰入等			
資金残高等	724	724	0
本年度末現金・預金残高	2,138	2,156	18

国民年金特別会計基礎年金勘定の業務等の概要

1. 設置目的、業務内容

この勘定は、基礎年金事業の収支（業務勘定に係るものを除く。）を経理するもので、基礎年金の給付に要する費用に充てるための国民年金勘定及び厚生保険特別会計年金勘定からの受入金並びに年金保険者たる共済組合等からの拠出金を主な財源として、基礎年金給付費等の支出を行っている。

2. 歳入歳出決算概要

歳入額 19兆 1,381億円に対し歳出額 17兆 7,058億円であり差引 1兆 4,322億円の剰余が生じた。この剰余金は翌年度歳入へ繰り入れた。

3. 年金積立金の残高

7,246億円

主な科目の内容

- 貸借対照表
 - 未収金等…主に他会計繰入未収金（受入の増 1,270億円）
 - 未払金等…主に他会計繰入未済金
- 業務費用計算書
 - 基礎年金給付費…給付の増 8,522億円
- 資産・負債差額増減計算書
 - 本年度業務費用合計と財源合計との差額 1,679億円